

No.2855

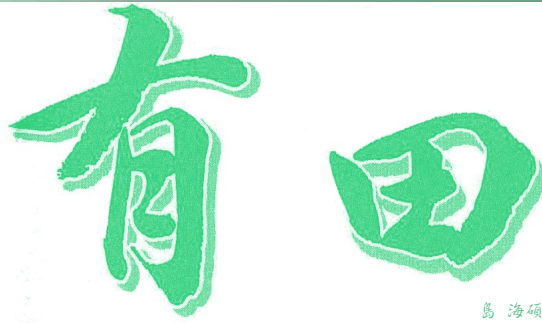
2017-2018年度

会長 成川 守彦

幹事 橋本 拓也

R広報委員長 應地 正章

担当：菅原委員



島海碩書

第2640地区	
例会日	毎週木曜日 12:30
例会場	紀州有田商工会議所6F
事務所	〒649-0304 有田市箕島33-1 紀州有田商工会議所2F 有田ロータリークラブ Tel (0737) 82-3128 Fax (0737) 82-1020
創立	昭和34年6月15日
ホームページ	http://www.aridarc.jp
e-mail	office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

- 1. 真実かどうか
- 2. みんなに公平か
- 3. 好意と友情を深めるか
- 4. みんなのためになるかどうか



2017-2018年度クラブ方針

ロータリーを知ろう

～温故知新～

次回のお知らせ



本日のプログラム

平成30年1月11日 第2856回

- ・新年夜間例会 (於) ホテルグランヴィア和歌山
- 年頭所感：児島 良宗 君
- ・ソング：「君が代」「奉仕の理想」

平成30年1月18日 第2857回

- ・ローテーションデー (於) ふみこ農園
- 会員卓話：成戸 文子 君
- ・ソング：「それでこそロータリー」

前回の報告 (第2855回例会)

開催日 平成29年12月21日(木)

点鐘 (成川(守)会長)

ゲストの紹介 (上野山(捷)親睦活動委員長)

ゲスト：和歌山特報社様
米山奨学生：董涛君

米山奨学金授与



成川(守)会長より、米山奨学生の董涛君に12月分の奨学金が授与されました。

ニコニコ箱の報告 (中元SAA)

成川(守)君：本日、前期最後の最終例会です。本日でやっと半分終わりました。あと半分、よろしくお願い致します。本日のミャンマー国際奉仕活動報告、よろしくお願い致します。

橋本君：今年最後の例会となりました。半年間ありがとうございました。本日のミャンマー国際奉仕事業の報告、よろしくお願い致します。

榊井美恵子様(和歌山特報)：いよいよ年の瀬。よき年をおむかえ下さい。特報も来る年、よろしくお願い致します。

中元君：ミャンマー国際奉仕活動報告させていただきます。

上野山(捷)君：ミャンマー国際奉仕活動報告のみなさま、ご苦労様です。

橋爪(誠)君：本日、ミャンマー国際奉仕活動報告させて頂

きます。本年の最終の例会ですね！皆様よいお年をお迎え下さい。

嶋田(崇)君：ミャンマー活動報告を5名でやらせて頂きます。宜しくお願いします。

上野山(英)君：ミャンマー国際奉仕チームの皆様、ご苦労様でした。

児島君：ミャンマー国際奉仕、ご苦労さまでした。報告楽しみです。

菅原君：嶋田先生、ミャンマー国際奉仕活動報告、楽しみにしています。

嶋田(ひ)君：皆様よいお年をお迎え下さい。来年も宜しくお願いします。

脇村君：皆さん、いろいろお世話になりました。来年もよろしくお願い致します。

石垣(洋)君：皆様、色々とお世話になりました。来年もよろしくお願い致します。

丸山君：成川会長、理事、委員会の皆様、ご苦労様です。今年、私の応援している演歌歌手の「丘みどり」さんが紅白初出場します。楽しみです。皆様、よいお年を！

橋爪(正)君：ミャンマー国際奉仕活動をされた皆様、御苦労さまでした。活動報告興味深いです。また、会員の皆様、良き年をお迎え下さい。

酒井君：本日の国際奉仕活動報告、よろしくお願い致します。

應地君：ミャンマーへの参加の皆様、ありがとうございます。

岩橋君：ミャンマーへ行かれました嶋田(崇)さん、中元さん、松村さん、上野山(栄)さん、橋爪(誠)さん、御苦労さんでした。

中村君：嶋田団長はじめミャンマー奉仕活動にご参加された皆様、たいへんお疲れ様でした。本日、早退します。会員の皆様、来年もどうぞよろしくお願い致します。

上野山(栄)君：本日、ミャンマーの国際奉仕事業の報告

をさせていただきます。自作ビデオをご覧ください。

松村君:ミャンマーから帰ってきて1ヶ月。体調が良くなりました。

岩本君:私祭が入りましたので中座させていただきます。

宮井君:会長、幹事、役員の皆様、前期ご苦勞様でした。後期もよろしくお願ひ致します。

ミャンマー国際奉仕事業参加者一同:ミャンマー国際奉仕事業の支援金、誠に有難うございました。この支援金は事業の会議費等に使用させていただきました。残った金額はニコニコ箱に返金させていただきます。会員の皆様のおたまたかい御支援、本当にありがとうございました。

川口君:本日のミャンマー国際奉仕活動報告、楽しみにしています。本年も皆さん、お世話になりました。ありがとうございます。

出席報告 (脇村例会運営委員)

本日の会員数32名

(出席規定免除会員9名)

出席会員数27名

(出席規定免除会員9名)

84. 38%

12/7 81. 25%

MU:なし

会長の時間 (成川(守)会長)

やぎゆうせきしゅうさい

「半期を振り返って、柳生石舟斎」

今日は前半期の最終例会で、毎年、奉仕部門の担当理事から「半期の活動報告」をいただくのですが、その報告は皆様に配布し、今年30分を、11月にミャンマー国際奉仕活動に行かれた報告をしていただきます。5名の皆様、本当にご苦勞様でした。この活動が今後の有田RCの国際奉仕に繋がっていくことを願っています。



さて、今日で2017-18ロータリー年度の半期が終わります。この半年の間、私の勝手なクラブ運営に対しまして、会員皆様にはご支援ご協力をいただき衷心より感謝申し上げます。

私は、できるだけ、皆様がロータリーに親しみ、ロータリーを知っていただき、ロータリーの楽しさを分かっていたらよいと考え、その機会を設定したつもりです。この機会をどのようにご利用頂くかは、皆様次第です。しかし、有難いことに、皆様はそれに応じて頂きました。

「ロータリー・デー」「二神さんとの懇談会」「月見例会」「ミャンマーの国際奉仕事業」「永田様との懇談会」等々・・・本当にありがとうございました。嬉しいです。

柳生石舟斎(日本の剣豪。剣術流派『柳生新陰流』の開祖)は、「縁の大切さを骨身にしみて感じた。縁を生かせるかどうか、人生を決めると思った。」そうです。

柳生石舟斎は、こう言っています。

「小才は縁に出会って縁に気づかず、
中才は縁に気づいて縁を生かさず、
大才は袖すり合った縁をも生かす」

では、縁を生かすとは一体何か。柳生石舟斎は、こう言っています。

それは、自分が変わることである。

自分の心が驕ってはいは、縁を生かせない。謙虚に驕らずだ。言うは易し、行うは難しだが、これこそが縁を生かし、勝利の女神の前髪をつかんで成功する道だ。

・・・柳生石舟斎はそう強く思ったそうです。

昔から、「実るほど頭を垂れる稲穂かな」ということわざがあります。心して、縁を生かしたいものです。

今年の例会は、本日で終わりです。28日と1月4日は休会です。来年は、11日が新年例会で、和歌山市のホテルグランビアで、16時から開会です。皆様、ディナーショーですから、少しオシャレして、蝶ネクタイもいかがですか?シンガーXは誰でしょうか?素敵な歌手です!楽しみにしてください。

では、良いお年をお迎えください。来年、11日にお会いいたします。

幹事報告 (橋本幹事)

1. ガバナーエレクト事務所から、年末年始休暇のお知らせが届いています。
2. 月信第6号訂正のお願いが届いています。
3. 地区より、2017-2018年度財団補助金申請ハンドブックが届いています。酒井ロータリー財団委員長に手渡します。
4. 本日例会終了後、例会場にて臨時理事会を開催します。理事・役員の方は参加宜しくお願ひします。
5. 他クラブより例会変更の案内が届いています。

委員会報告

* 米山奨学生(董涛君)

本日12/21(木)、午前11時から有田市の職員の方へ、地の島での奉仕活動のSNSでの宣伝効果について報告しました。(報告内容は後方へ掲示)



* 親睦活動委員会

(橋爪(誠)副委員長)

1月11日の新年例会参加者への案内。例会開始時間は午後4時からホテルグランヴィア和歌山で行います。各自交通手段を再度ご確認の上、気をつけてお越しください。

ミャンマー国際奉仕事業の報告



<挨拶> 嶋田 崇 団長

皆様、こんにちは！

本来なら本日のプログラムは、前期を省みてというテーマで、SAAと四大奉仕委員長からお話し頂くのですが、詳しいミャンマー活動報告をまだしてませんので、会長に無理をお願いして、本日発表の場とさせて頂くことになりました。皆で精一杯頑張りますので宜しくお願いします。

この後の流れは、まず中元先生から今回の事業実施までの経緯を説明して頂きます。そして次に事業の映像をご覧頂きながら、上野山栄作君に注釈も入れて説明してもらいます。そして最後に事業に参加しての感想を松村さんと橋爪誠治君に述べてもらう予定です。皆様、どうか宜しくお願い致します。

<経緯説明> 中元 耕一郎 君

当国際奉仕委員会は当初、カンボジア、タイでの活動計画を模索していましたが、いずれも断念に終わりました。そこで私はミャンマーに車や農機具を輸出販売している神戸市在住の知人、濱崎算悟(ハマザキ カズノリ)氏に耕作用のトラクターを現地の農村に寄付できないかと相談を持ち掛けました。しかし、ロータリー財団地区補助金とクラブ拠出金の計30万円弱の予算ではその実施は困難とのことでした。

その後、濱崎氏とミャンマーで取引のあるMJT (Myanmar Japan Trading Agricultural Machinery Co.,Ltd.)のイェトゥン代表と私の3名で会合を持ち何度か協議を重ねて行くうちに、予算内で行うことができるであろう当該事業(ミャンマーにおける有機肥料を使った職業訓練事業)の話が持ち上がりました。

今回の事業の協力団体であるMJTは日本から輸出された耕運機などの農機具をミャンマーで販売している会社で、その代表者が今回の事業のキーパーソンの一人であるミャンマー人のイェトゥン氏であります。

本事業を実施するにあたりMJTは、事業の実施場所の選定、会場の設営、現地講師の選任、贈呈するスコップ、肥料等の手配を行なってくれました。当事業における有田RCの主な役割は財政面からの支援でした。

MJTは事業終了後も有機肥料を使用して作った農作物の生育画像等をメールで定期的(2ヶ月に1回)に送信してくれる予定です。

<映像での事業報告> 上野山 栄作 君



有田ロータリークラブのホームページにもミャンマーでの写真を掲載していますので、ぜひご覧ください。



ない人に比べて、人を信頼し、恩を返したいと考える傾向が強い。それが幸福感や健康にもよい影響を与える・・・そんな研究論文もあります。ミャンマーは日常生活が仏教と密接に関わっているのでそういった傾向が強いのだと思いました。本当に穏やかな国民です。

<感想②> 橋爪 誠治 君

「感動」を体験するから「感動」を実感できる。実感できたからこそ、人に伝えたい。奉仕事業の好循環を肌身で感じる事が出来ました。

有田ロータリークラブの歴史で行われてきた国際奉仕活動について、国際奉仕活動の苦労話、充実感、達成感等々、色々なお話をよく先輩ロータリアンより聞かせてもらい頭の中で理解していたつもりでした。しかし自分で体験すると、話を聞いているだけでは大違いでした。

今回の感動体験は、MJTが母国ミャンマーのために地域のニーズを汲んだ事業を立案し、農業従事者の未来を、強いてはミャンマーの食の安全を確保できように一石を投じ、農機具販売の促進を考える高貴な職業奉仕理念と、有田ロータリークラブの国際奉仕理念が見事に合致した結果だと確信しております。独りよがりの奉仕ではなく、ニーズにそった奉仕を行えたような気がします。関係者一人ひとりの真剣な眼差しと、心から湧き出る笑顔が忘れられません。

このような貴重な体験をさせてもらった、成川会長をはじめ、国際奉仕について議論し考え続ける有田ロータリークラブを誇りに思いました。本当にありがとうございました。

閉会・点鐘 (成川(守)会長)



<感想①> 松村 秀一 君

ミャンマー、タイ、ラオスはかつて、黄金の三角地帯と呼ばれて麻薬の製造が盛んに行われていたそうです。そんな麻薬で財を成した人がミャンマーの経済を牛耳っていてアウトローの人も大勢いるのかと思っていましたが、とても素朴で善良な感じの人ばかりでした。

ミャンマーの村の中心にはお寺がありました。毎朝僧侶は托鉢をするそうです。そのお坊さんはとても尊敬されているそうです。寺院や神社の近所で育った人は、そうで

